

BEENOS、グループ会社の BEENOS Plaza を通じて、 インドネシアで事業者向け“間接資材マーケットプレイス”を展開する 「Ralali(ラルリ)社」にリードインベスターとして出資 ～ベンチャーキャピタル等と共同で総額 255 万ドル(約 3 億 2,000 万円)を出資、 インドネシアでの B2B 領域への進出を図る～

BEENOS 株式会社(本社:東京都品川区 代表取締役:直井聖太、以下「BEENOS」)は、この度、グループ会社でインドネシアのスタートアップ企業に投資を行う BEENOS Plaza Pte.Ltd(本社:シンガポール)を通じて、インドネシアで事業者向け間接資材マーケットプレイス「ralali.com」を展開する、Ralali PTE 社(本社:シンガポール CEO: ジョセフ アディテヤ ミナルト、以下「ラルリ」)の第三者割当増資を引き受け、リードインベスターとして出資を行いました。今回のラウンドでは、株式会社サイバーエージェント・ベンチャーズやイーストベンチャーズ投資事業有限責任組合(East Ventures)等と共同で総額 255 万ドル(約 3 億 2,000 万円)を出資しております。

ラルリは、インドネシアにて、事業者向け間接資材(MRO = Maintenance, Repair, and Operational Products)のオンラインマーケットプレイス「ralali.com」を2013年より展開しております。「ralali.com」は、研磨用品、電気材料、作業工具、建築土木用品、梱包資材、測定機器、清掃用具、安全衛生保護用品、医療用品等 30 のカテゴリーと 700 のサブカテゴリーの商材を扱う総合 B2B マーケットプレイスです。

中小企業の多いインドネシアにて、最大級の B2B マーケットプレイスを運営するラルリは、今回の調達により、現時点で 5 万点ある SKU(在庫管理単位)をさらに拡張させ、インドネシア全土のあらゆる企業に向けたサービスの拡張を行います。



▲ ralali.com : <http://www.ralali.com/>

■出資の背景・今後の展開について

インドネシアの事業者向け間接資材マーケットは、現時点でも 600 億米ドル(7 兆円超)のマーケットと言われており、拡大が続いております。中小企業にとって、このような間接資材を、便利に簡単にインターネットを通じて調達することは、本業の生産性を上げることにもつながり、ひいては、社会全体の生産性を上げていくことにもつながると考えています。

BEENOS は 2012 年初頭より、インドネシア最大手 C2C マーケットプレイスを運営する Tokopedia(トコペディア)社や、同国最大級のオンライン決済サービスを展開する Midtrans(ミッドトランス)社に出資をするなど、早い段階からインドネシアの EC 市場に注目し、投資先の戦略投資家として経営をサポートし、事業の成長に貢献して参りました。

インドネシアの EC 市場においても、C2C や B2C に加えて、中国の Alibaba(アリババ)社や、日本のアスクル社や MonotaRO 社に代表されるように、B2B 領域での市場の発展が見込まれると判断し、今回の出資に至りました。

【BEENOS 株式会社の概要】

- (1)社 名 : BEENOS 株式会社
- (2)代 表 者 : 代表取締役社長 兼 グループ CEO 直井 聖太
- (3)本店所在地 : 東京都品川区北品川四丁目7番 35 号
- (4)設立年月 : 1999 年 11 月
- (5)資 本 金 : 27 億 25 百万円

【BEENOS Plaza Pte.Ltd の概要】

BEENOS Plaza は、BEENOS とインドネシアの現地企業との合弁会社で、シンガポールを拠点としインドネシアのスタートアップ企業に投資を行っております。

以上